

海外安全対策情報 (定期報告:平成26年度第1四半期)

在エチオピア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

当国政府は当地において引き続き高いテロ対策を実施している。

その理由として、6月上旬にアル・シャバーブ(以下AS)が首都アディスアベバにおいて、数回のテロ攻撃を実行する計画を企てていたことが挙げられる。

ただ、エチオピアのテロ対策が功を奏しており、6月3日にテロの首謀者2名逮捕。4日に新たにテロ組織に所属する25名を拘束している。

しかし、テロリストの逮捕によって、警戒レベルが下がっているものではなく、市内の主要道路や、テロのターゲットとなり易い高級ホテルや政府機関等は引き続き警戒レベルを上げている。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当地においては、日本人を含む外国人を狙った強盗や窃盗事件が発生している。主な手口は次のとおり。

(1)強盗事件

首締め強盗被害が頻繁に発生している。いずれも夜間の時間帯であり、複数による犯行も認められる。暗くなってからの徒歩での移動を控え、車で移動すること、及び自宅から移動ルートを毎日変更するなどして、犯行動機の抑制に努める必要がある。

(2)詐欺事件

邦人等が運転している車に併走し、「車が壊れている」と大きな声で停止を呼びかける。車を停止した後に、2、3人に男が車に近づき、修理するふりをしながら、車内を物色。貴重品を奪取する手口が認められる。

2. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1)殺人

邦人被害の届け出はない。

(2)強盗

邦人被害の届け出はない。

(3)強姦

邦人被害の届出はない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

6月4日、ハレマヤ大学(エチオピア南東部郊外)にてフットボールの試合を観戦していた学生に対して手榴弾を投げつけ、死者1人及び重軽傷者70人の被害が発生した。4人のエチオピア人容疑者を逮捕された。本事件に関して、ASとの関連性は不明である。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の届出はない。

5. 自然災害発生の事例

国内において大きな災害は、発生していない。

6. 対日感情

対日感情については、問題ない。

注意:エチオピア人の対日感情に問題は無いが、エチオピア人の中には中国に対して反感を懐く者もあり、日本人が中国人と間違われ、嫌がらせを受ける可能性はある。

7. 日本企業の安全に係わる諸問題

特になし。